



阪神高速技術

変わらない日常が、
誇りに思える仕事。



最高水準の道路守りへ

HANSHIN EXPRESSWAY ENGINEERING COMPANY LIMITED

会社案内

阪神高速技術株式会社

〒550-0005 大阪市西区西本町一丁目4番1号オリックス本町ビル
Tel: 06-6110-7200 (代表) Fax: 06-6110-7201 <https://www.hex-eng.co.jp/>



ISO35001認証取得
MS-NAS21
認証範囲: 阪神高速道路関係施設の点検から
診断、補修を一括で実施する維持管理業務
認証範囲: アセットマネジメントを含む部室のみ

人と社会を未来へつなぐ、道のマネジメントを。

阪神高速を見守り続けてきた阪神高速技術。私たちは、関西都市圏の大動脈を常に最適な状態に保つという使命のもと、そして、新たな社会資本を創る時代から、ライフサイクルコストの縮減や道路の長寿命化など、常に見据えた提案で社会のニーズに応えていきます。これまでも、そしてこれからも、人と社会を未来へつなぐ、道のマネジメントを、「最高水準の道路守り(みちもり)」として紡いでいきます。

施設

阪神高速にかかわる様々な施設、設備を24時間体制で監視しています。

土木

道路や橋梁、トンネル等の多岐に渡る構造物を維持補修します。

新たな取り組み

阪神高速で培った技術とノウハウを幅広く展開していきます。

技術開発

未来を見据えた技術開発で、最高水準の道路サービスを提供します。

安全・安心・快適を追求し、トータルマネジメントを実現します。

当社は、2005年(平成17年)10月5日に阪神高速道路株式会社の100%子会社として設立されました。

社会の重要な資産である高速道路を絶えず安全・安心・快適な状態に保ち、

豊かな社会を維持することに貢献するという経営理念のもと、阪神高速を24時間、365日見守り続けています。

私たちの仕事は、関西都市圏の大動脈である阪神高速の点検から診断、補修までの維持管理を

一括管理体制(トータルマネジメント)で実施することです。その維持管理の対象は、非常に多岐にわたっています。

私たちは、多種多様な道路構造物や施設・設備に対して、

最先端の技術と確かな維持管理手法で、「眠らない阪神高速」を実現してきました。

そして今、私たちが培ってきた技術とノウハウは新たな事業へと展開し、

コストの削減や更なる長寿命化が求められる国や周辺自治体が管理する道路の一括管理や点検を担うなど、

「最高水準の道路守り(みちもり)」として、人々の暮らしや社会を守り続けていきます。

当社は、道路の維持管理に関する専門会社として、

これからも地域に貢献し、皆さまのご期待に応えていきたいと考えています。

阪神高速技術株式会社への一層のご支援をよろしくお願いいたします。

代表取締役社長 加賀山 泰一



経営理念

社会の重要な資産である高速道路を絶えず安全・安心・快適な状態に保ち、豊かな社会を維持すること
に貢献します。

経営方針

1. 一歩進んだ品質・技術を目指し、それを継承していきます。
2. 高い信頼性を得られる組織づくりを目指します。
3. 業務執行体制の明確化、迅速化、透明性および効率化によるコスト削減を図ります。
4. 様々な維持管理業務等を担える体制・能力を育成します。
5. 阪神高速道路グループの一員として、グループ全体の発展に寄与します。

行動指針

変化する経営環境を的確に把握し、常に一歩進んだレベルを目指すことで、顧客の信頼と満足を勝ち取る。

阪神高速技術 4つの柱

土木

高速道路の維持管理は、 新たな領域へ。

より安全で、より安心、しかも快適であること。関西の大動脈である阪神高速をはじめとする、道路構造物の維持管理では、定期的な「点検」、適切な「診断」、そして計画に沿った「補修」のサイクルが重要になります。高速道路の点検から診断、補修までを一括（トータルマネジメント）して行う阪神高速技術ならではの特徴を活かし、損傷の早期発見、適切な診断による速やかな補修を目指し、日々の維持管理に取り組んでいます。

更に、計画的な維持管理を推進し、予防保全・予知保全にも積極的に取り組んでいます。

橋梁やトンネルの維持管理にかかわる業務

目視や接近点検、たたき点検など、あらゆる「点検」を駆使しています。



点検結果を様々な角度から見つめ、適切に「診断」します。



ライフサイクルコストを考慮し、「補修」の効率化を導き出します。



最高水準の維持管理を実現させる 技術開発の確かな一歩。

阪神高速技術の大きな強みは、「技術力」にあります。常に未来を見据えた技術開発を推進できるのは、点検から診断、補修までを一括管理体制（トータルマネジメント）で行い、現場の技術ニーズを直接把握できるからです。

こうした現場からの技術ニーズに、阪神高速技術では各種研究機関や機器の開発メーカーなどとも連携し、新技術を開発。常に最高水準の道路サービスを提供するために、独自のアプローチで維持管理の新しい可能性を追求し、最先端の技術開発に挑戦し続けます。

すべり抵抗調査車 RT3® Curve

高速走行しながら、路面のすべり抵抗の状態を連続的に調査。



道路構造物点検車 ドクターバト2.0

高速走行しながら、舗装、トンネル、伸縮装置の点検を高精度に実施。



鋼床版き裂調査車 みつけるくんK

路面上から渦流探傷による鋼床版き裂調査を実施。



施設

24時間、365日、見守り続けるために。

時代の変化や技術の革新により、各種システム・設備などの施設は、より複雑・高度化しています。例えば、阪神高速にはETC設備などの複雑なシステムが設置されています。また、トンネルの換気や排水など、走行中には見えないところにも機械設備が数多く存在します。

更に、それらの重要な設備を収容する建物やパーキングエリア、料金所など、様々な施設が阪神高速の機能を支えているのです。こうした、安全な走行を守り、快適な利用環境を確保する様々な施設を24時間365日体制で監視し、故障や障害に対して速やかに機能を復旧するための維持管理を行うのが私たちの役割です。中長期を見据えた保全計画を策定することで適正な維持管理の実施により、社会のニーズにも応えていきます。

施設の維持管理にかかわる業務

「電気・通信」に関わる設備を守ります。



凍結検知装置の点検

「機械設備」をいつでも最適な稼働状態に維持します。



水噴霧設備の点検

「建築施設」の快適性を重視しています。



料金所の点検

「各種情報システム」の品質向上を目指します。



情報システムの点検

阪神高速で培った技術とノウハウの展開。 それも、私たちの大きな役割の一つです。

阪神高速技術では、阪神高速だけでなく、関西圏の自治体などと連携し、これまで培ってきた技術とノウハウを活かし、周辺ネットワークの道路や関連施設等の維持管理を行っています。また、他の高速道路のLED道路・トンネル照明灯や、周辺地方公共団体の太陽光発電システムなどを賃貸し、維持管理を受託しています。さらに、パトロールカー、標識車などの道路維持作業用自動車や工事に使用する特殊車両を全国の地方公共団体や民間会社にリース・レンタルし、道路の補修、維持管理をサポートしています。



トータルマネジメント （一括管理）

阪神高速で培ってきた技術とノウハウを活かし、あらゆる維持管理をサポートしています。



車両リース・ レンタル

補修工事や道路管理、日常点検に必要な車両のリースおよびレンタルを行っています。



エンジニアリング・ メンテナンス

橋梁点検業務など、自治体や道路公社などの維持管理業務をお手伝いしています。



総合リース事業

他の高速道路のLED道路・トンネル照明灯や、周辺地方公共団体の太陽光発電システムなどを賃貸し、維持管理を受託しています。

技術開発

新たな 取り組み

土木系の仕事

小さな損傷の見逃しが、大きな事故につながる可能性があるので責任の重い仕事です。

堀尾 大

阪神高速の維持管理業務は、阪神高速上および高速道路下、一般道路の安全かつ円滑な交通の確保と、利用されるお客さまへの障害・被害を未然に防止することを目的としています。具体的な業務内容としては、道路構造物の定期的な点検作業の実施と、確認された損傷に対する損傷度の診断(判定)を行います。その後、診断内容に応じて補修の優先順位を定め、調整を行いながら補修計画を策定し、補修工事を実施します。実施にあたり、沿道住民の皆さまへ工事のお知らせに伺うことや、各関係機関(道路管理者や交通管理者など)との工事に係る協議の実施など、さまざまな調整が必要となります。損傷への対応では、早急な対応が必要か書面だけで判断できない場合は、実際に現場へ赴くこともあります。また各工事現場の進捗状況や安全・品質管理も行っています。



建築系の仕事

建築物の特徴を理解し、中長期的な保全計画を策定しています。

中川 達哉

阪神高速技術が管理する建物には、パーキングエリアや料金所のほか、トンネルの換気所や受電所といった管理建物など、多様な建築物があります。その一つひとつの構造や経年劣化の状況を的確に把握し、効率的で、しかも長期的に保全できる維持管理の方法を常に考えながら、仕事に取り組んでいます。数多くの建築物を管理していますので、一つの現場に常駐して施工管理するのではなく、阪神高速全体の維持を目的としたトータルマネジメントを行っています。大変な仕事ではありますが、常にお客さま目線で安全・快適性を追求していくところにやりがいがあります。



システム系の仕事

様々な分野で使われており、必要不可欠な仕事であることを実感できます。

竹田 大真

私は阪神高速グループ内で利用するアプリケーションの開発に取り組んでいます。主にアプリケーションの要件定義、プロジェクトチームの業務・工程管理を行っており、自分自身で手を動かして設計書作成、コーディング、試験の作成・実施、障害対応を手掛けることもあります。このほか阪神高速のサービスを支えるシステムは多々あり、利用方法や目的も異なるため、情報処理や情報通信だけでなく、交通工学、建築、電気など幅広い知識が必要になります。それらを習得することで最適な設計を考えられることや、新たなアイデアを実践していける環境に醍醐味を感じています。



道路の維持管理を進化させる、先輩たちの INNOVATIVE ACT

電気系の仕事

阪神高速の整備にスタンダードはない。だから、挑戦し続けるんです。

山内 泰地

受電設備、照明やETC設備など、阪神高速上の電気設備を定期的にメンテナンスするのが私の仕事です。電気設備のメンテナンスを定期的に行うことによって、未然に故障を防ぎ、結果的に阪神高速を利用するお客さまの安全・安心・快適を提供することにもつながることから、自然に仕事のモチベーションも上がります。阪神高速で使われている電気設備は、多種多様で特殊なものが多く、スタンダードというものがなかなかありません。だからこそ、自分で検討した対応方法で、何度もチャレンジし続けることが、かなり難しいところでもあり、実はやりがいでもあります。チャレンジして得た対応方法は、自分にとって得難い経験や知識となって、次の大きなチャレンジに向けての武器にもなります。阪神高速技術という会社は、さまざまな職種の先輩がおられ、その先輩達とメンテナンスの方法を話し合うことも多く、それも自分の対応方法を広げるよい機会となっています。



機械系の仕事

快適に高速道路を利用できるよう「質の高い工事・維持管理業務」の徹底を目指します。

中村 優介

私は兵庫県内を走る阪神高速のトンネル機械設備の維持管理を担当しており、主に排風機・ジェットファンといったトンネル内の換気設備の整備計画立案や、整備時の安全管理、また点検・補修現場の安全・工程管理などを行っています。これらの設備は、周辺環境への対策やトンネル火災発生時にも使われる重要なものなので、適切な管理が求められます。現在、阪神高速ではトンネル数の増加に伴い機械設備数も増えています。適切な管理を行うために、設備の運転状況など様々な点検結果から優先順位を決め、今後の整備計画を立てていくことが必要となっています。このような計画を自ら率先して検討・実行していくことで、快適な高速道路の維持に努めています。



事務系の仕事

会社の「今ある姿」を明らかにし、「あるべき姿」に近づけることが、私たち事務系社員の役割です。

宮永 凌汰

「事務系」と聞くと、退屈なルーティンワークを想像される方が多いかもしれませんが、確かに黙々と机に向かう時間が多くを占める仕事ではありますが、阪神高速技術の事務系社員に求められる役割は、単調なデスクワークに留まりません。そういったデスクワークから知り得た情報を、現場とは違った事務系ならではの視点から見つめ、会社の今ある姿を明らかにすること。また、日々寄せられる社員の生の声に耳を傾け、会社を「働きやすい環境」へ整備していくこと。これらを、淀みなく常に考え続けることが、阪神高速技術において事務系社員に求められる真の役割であり、私が目指すべき姿でもあります。いつか自分が、会社を変える立役者になるかもしれない。そう考えると、とてもわくわくする仕事だと思いませんか？



求める人物像

未知の領域にチャレンジする気概に満ちた
「人財」をお待ちしております。

土木系

- ◎道路構造物の維持管理、構造物の診断、設計に前向きに取り組める方
- ◎長寿命化や予防保全、予知保全を学び、維持管理のコンサルティング業務に取り組みたい方
- ◎土木工学を学び、当該技術を生かした仕事をしたい方

建築系

- ◎料金所、パーキングエリアや建築物の維持管理に前向きに取り組める方
- ◎建築学を学び、当該技術を生かした仕事をしたい方
- ◎建築構造物の長寿命化や予防保全、予知保全に興味があり、維持保全に取り組みたい方

電気系

- ◎電気・通信設備の維持管理に興味を持ち、前向きに取り組める方
- ◎電気・電子工学を学び、当該技術を生かした仕事をしたい方

システム系

- ◎ETCや交通管制などのシステムの管理や企画、設計、構築などに前向きに取り組める方
- ◎情報システム学を学び、当該技術を生かした仕事をしたい方

機械系

- ◎トンネル換気設備、防災設備などの機械施設の維持管理や構築設計などに前向きに取り組める方
- ◎機械工学を学び、当該技術を生かした仕事をしたい方

事務系

- ◎総務・人事業務、財務・経理業務および営業業務に前向きに取り組める方
- ◎法律や会計を学び、その知識を生かした仕事をしたい方

福利厚生

自分に合った選択ができる 「カフェテリアプラン」を提供

多様化する社員の福利厚生ニーズに対応し、全員が公平に利用できる新しい福利厚生制度「カフェテリアプラン」を導入しています。この制度は社員一人ひとりが幅広い選択肢（宿泊施設利用補助、自己啓発補助や人間ドック利用補助といった、「旅行」「自己啓発」「健康」など、多彩なメニュー）の中から自分のニーズに合わせてメニューを選んで利用する制度であり、時代の変化、ニーズの変化に柔軟に対応できる制度です。



未来予想図

未来予想図2030

～みちもり君25歳の姿～

組織風土

全社員が磨き上げられた
現場感覚を持ち、
常に挑戦を続ける集団

業態・事業領域

都市内道路インフラの
「トータルマネジメント
(総合維持管理)」という、
新しいスタイルの企業

社員満足

社員一人ひとりが
「夢」と「誇り」を持って
働ける組織

挑戦を続ける、オンリーワンの技術者集団へ

人財育成

技術とマインドを両立させた真のプロフェッショナルを育てます。

資格取得

会社を挙げてスペシャリストを応援します! 資格取得支援が充実しており、資格の受験費用や講習にかかる費用が支給されるほか、取得した資格に応じて資格手当を支給しています。また、資格取得のための勉強会や講習会を会社独自に実施しており、会社を挙げて資格取得を応援しています。

研修制度

さまざまな研修で社員育成をバックアップします。

【新規採用研修】

新規採用者を対象に、ビジネスマナーや事業内容等について理解を深める研修を実施しています。

【メンターメンティ研修】

他部署の先輩社員が若手社員の仕事上における悩みや不安の相談相手となり、指導・育成を行うことで若手社員の成長をサポートします。

【階層別研修】

新規採用社員・若手・中堅・管理職等、会社が各階層に求める(期待する)役割を社員に理解させ、役割遂行に必要な能力を育てることを目的とした研修を行い、社員一人ひとりの育成と組織の成果をつなげます。

【外部機関研修】

社外機関で行われている業務に関係する研修・講習等を受講でき、社員の技術力向上をサポートします。

【企画提案型海外研修】

海外に関する知見を広めることや、会社事業に関連する知識・技術の習得を主目的とし、自前で企画提案し、国際学会や技術提携を結ぶ海外道路会社等で研修を行う制度です。

【技術系研修「みちもり塾」】

土木構造物や施設設備の維持管理技術、また安全衛生、技能習熟に関する研修を社内組織で実施しています。



企業情報

商 号	阪神高速技術株式会社 HANSHIN EXPRESSWAY ENGINEERING COMPANY LIMITED
本社所在地	〒550-0005 大阪市西区西本町一丁目4-1 オリックス本町ビル
設 立	平成17年10月5日
資 本 金	8,000万円(資本準備金2,000万円)
代 表 者	代表取締役社長 加賀山 泰一
従 業 員 数	約360名
業 務 内 容	・建設業許可 大阪府知事 許可(特-3)第125635号 「土木工事業」「建築工事業」「電気工事業」「管工事業」 「鋼構造物工事業」「舗装工事業」「塗装工事業」 「機械器具設置工事業」「電気通信工事業」「造園工事業」 ・建設コンサルタント 建03第8600号 「鋼構造及びコンクリート部門」 「施工計画、施工設備及び積算部門」 ・警備業法に基づく警備業(大阪府公安委員会認定) 第62002653号 ・測量法に基づく測量業者としての登録 登録第(2)-34812号 ・自家用自動車の有償貸渡許可 許可番号 大運輸第80890号(大阪) ・一級建築士事務所 大阪府知事登録(ロ)第25171号 ・古物商許可(大阪府公安委員会認定) 許可番号 第621070181161号
認 証 登 録	ISO 9001(QMS 登録番号:MSA-QS-3239) ISO 55001(AMS 登録番号:MSA-AS-21) ※アセットマネジメントを司る部署のみ
子 会 社 等	内外構造株式会社 株式会社情報技術 株式会社テクノ阪神 株式会社ハイウェイ管制 阪神施設調査株式会社

阪神高速グループ

阪神高速グループでは、阪神高速の「安全・安心」に密接に関わる保全点検、維持修繕、交通管理および料金収受を中心に、専門的技術・知識を有する子会社を設立し、グループ経営体制を構築しています。グループ経営体制においては、明確な資本関係の構築、理念・ビジョンなどの共有により、グループガバナンスを構築し、①品質の確保・向上、②業務の効率化、③技術・ノウハウの集約、④緊急性・機動性の確保を図っています。

阪神高速グループの概要 (令和6年3月31日現在)

